

東日本大震災復興支援チャリティーコンサート

PRAY FOR TOHOKU
A LIVE CONCERT BY LES FRÈRES

レ・フレル

LUXEMBOURG EMBASSY and SOPHIA UNIVERSITY
present

2011.4.20(水) **18:00 Open**
／**18:30 Start**

上智大学 10号館講堂

Sophia University No.10 Bldg Lecture Hall

JR 中央線・総武線、東京メトロ丸の内線・南北線 四ツ谷駅より徒歩 5 分

チケット料金(全席自由席): **学生 ¥1000** / **一般 ¥3000** 発売開始 4月13日(水)



■前売りチケット取り扱い／お問い合わせ:

(上智大学学生・教職員・卒業生)

□ 上智大学カトリックセンター TEL:03-3238-4161

4月13日 12:30～より

カトリックセンター(2号館1階)にて販売いたします。

先着順 なくなり次第販売を終了させていただきます。

※このコンサートは、このたびの大震災で被災された方々や地域の支援、復興の一助となるべく企画されました。チケット売上金および寄付金の全額を日本赤十字社および社会福祉法人中央共同募金会にお送りいたします。

※学内には駐車スペースがございませんので、公共交通機関をご利用ください。

主催:ルクセンブルク大公国大使館／上智大学

協力:オフィスキャトルマン／ソフィア会

Les Frères レ・フレール

<http://lesfreres.jp>

横須賀市出身の齋藤守也(さいとうもりや・兄)と齋藤圭土(さいとうけいと・弟)の兄弟によるピアノデュオ。

兄弟共に15歳よりルクセンブルク国立音楽学校に留学しクラシックピアノを学ぶ。

2002年9月3日に「レ・フレール(フランス語で「兄弟」を意味する)」を結成。

結成当初は地元のライブハウスをはじめ、各地の幼稚園や小学校を中心としてライブ活動を開始。

1台のピアノを2人で自在にダイナミックに操る独自のプレイスタイル「キャトルマンスタイル※」は地元「横須賀」を発信源として瞬く間に話題となる。

メジャーデビュー前の2005年にテレビ番組「題名のない音楽会21」(テレビ朝日)や、2006年の「東京JAZZ」オープニング出演を皮切りに、メジャーデビュー後も「キリンニューイヤーコンサート」でのクラシックオーケストラ(東京交響楽団)との共演、アルバム「服部良一」におけるポップス楽曲編曲、映画「4分間のピアニスト」(2007年ドイツ・アカデミー賞受賞作品)へのイメージソング提供、テレビ番組「はなまるマーケット」(TBS)エンディングテーマ曲提供など、ピアノ1台で演奏するスタイルが高く評価され、ジャンルの壁を超えて活躍の場を広げている。

2006年11月8日にリリースしたメジャーデビュー作「Piano Breaker / ピアノ・ブレイカー」(Universal Music)はオリコンウィークリーチャートにおいてピアニストデビュー作歴代最高位を塗り替え、史上初のTOP20入りを果たし、さらにゴールドディスクを獲得。

海外においても2008年9月に韓国Universal Musicからのメジャーデビューと同時に開催したソウル・プサン・チェジュの3都市ツアー、2010年5月にフランスUniversal Music、ベルギーUniversal Musicからのメジャーデビューと同時に開催したフランス・ルクセンブルク・ベルギーのヨーロッパ3カ国ツアー、2011年3月に開催したオーストラリア5都市ツアー(ブリスベン大洪水復興支援ライブ他)をいずれも大成功におさめた。

齋藤 守也 さいとう もりや

1973年11月5日生まれ。

12歳からピアノを始める。

15歳の時、ルクセンブルク国立音楽学校に留学、ガーリー・ミューラー氏に師事。

22歳で同校を卒業し、ジャンルの幅を広げるために帰国。帰国後は作曲活動に専念する傍ら、ライブハウス、レストラン、バーなどでのソロ活動やバンド活動を行う。

バラードを得意とし、静かで深さのある音は自由さと誠実さを併せ持ち、歌を奏でるようなポップな旋律まで幅広いプレイで聴く人の心を惹き付ける。また、独特な編曲センスはこれまでのジャンルにない、レ・フレールサウンドとして表現され、現在舞台音楽を始め、さまざまな方面から注目を集めている。

齋藤 圭土 さいとう けいと

1978年11月18日生まれ。

6歳からピアノを始める。

15歳の時、兄と同じルクセンブルク国立音楽学校に留学する。留学中に会ったブギ・ウギ・ピアノを独学で始め、2000年春には、ブギ・ウギ界の巨匠、ドイツ人ピアニストのアクセル・ツヴィンゲンベルガー氏と共演する。2008年11月には、初のソロアルバム「Boogie Woogie FarEast」(Universal Music)をリリース。

古典的ブギ・ウギの継承者、次世代を担うブギ・ウギ・ピアニストとして国内外から注目を集める他、近年ではブルースの評価も非常に高く、アジアにおけるブギ・ウギ&ブルースシーンの若き牽引者としても活動範囲を広げている。その激しく一途な音は圧倒的な引力で観客を魅了する。